

# 久米晃氏「参院選は前回並み」

選挙専門家の久米晃氏が20日朝、都内のホテルで講演し、参院選を占った。久米氏は自民党本部の前事務局長兼選対部長で、1月に退職した。久米氏は「同日選はない」と言い続けたことで知られる。その背景説明。

「1980(昭和55)年と、86(同61)年の2回、自民党は同日選に勝った。その前、自民党は衆院で過半数を割っていた。当時、自民党の支持率は60%あり、『支持者が投票に行かなかった』とみられた。だから、同日なら投票率が上がり、自民党が勝つと思われ、その通りになった」

久米氏が続けた。

「いま自民党の支持率は40%程度。減った20%は無党派層へ行っ

た。野党には行っていない。無党派層の半数は選挙に行かない。残り半数は自民党に入れない。だから投票率が上がると自民党は苦しい。それに今回は自民党は過半数割れどころか283もの圧倒的過半数を得ている。同日選をしても減るだけだ」

7月の参院選について。

「32の1人区で勝負が決まる。前は東北で軒並み落として、自民は11敗した。今回は3年前ほど厳しくない。そこそこ戦える。自民党の獲得議席は、前回参院選と同じく(選挙区と比例合わせて)56議席前後だ。3年前に勝ったところが厳しくな

## 鈴木棟一の風雲永田町

6087

久米氏は、自民党が苦しい選挙区として次の数県をあげた。「長野、三重、滋賀、愛媛、大分、沖縄」

自民党の不安要素として、「老後資産2000万円」問題をあげた。「産経新聞社とFNN(フジニュースネットワーク)の合同世論調査

り、負けた県で有利など、さまざまなかよった。

「前回落とした山梨は知事選を自民党が取ったこともあり、期待が持てる。前回に勝った滋賀は野党候補の嘉田由紀子前知事の知名度が強みになっている。前回勝った愛媛は地元が選んだ候補者が厳しい」

で、参院比例区の投票先を聞いたら、自民党が前回調査より8・5%落ちた」

改選議席6の参院東京選挙区について。

「立憲民主党が2人立てたが失敗だったのでは。2人当選は見込めないし、1人の方がずっと選挙が楽だった」

同日選がないとして、「衆院の解散・総選挙はいつか？」との質問に、久米氏が答えた。

「解散しても議席は増えることはない。減る。それより後継者を育てること。『功成り名遂げて身退くは天の道なり』という。後継を育てることが、トップリーダーの仕事だ」

(政治評論家)

# 「首相は解散より後継育てよ」